

たかはぎし 議会だより

No. 113

2011年5月9日 発行

発行 高萩市議会
発行責任者 議長 鈴木 英樹
編集 高萩市議会だより
編集特別委員会
〒318-8511 茨城県高萩市春日町3-10
電話(0293)23-5373



3月11日 震災直後の災害対策本部

主 な 内 容

- 市政に対する一般質問・・・2
- 議案に対する質疑……………6
- 討論……………7
- 議案等審議結果……………9

去る3月4日、第1回定例会が開会されましたが、3月11日に発生した大震災により市庁舎をはじめ市の施設が大きな被害を受けたため、すべての日程を終了することが出来ず、閉会しました。

なお、市長から提案された案件のうち、人事案件2件及び議員から提案された議員定数削減に関する案件につきましては議会初日に審議し、採決を行いました。

平成23年第1回定例会

去る2月2日、第1回臨時会が開かれ、市長から専決処分報告、条例の制定及び一部改正、平成22年度補正予算が提案され審議しました。

平成23年第1回臨時会

平 正三 議員

旧日本加工製紙跡地について

質問 旧日本加工製紙は、2002年5月29日に自己破産による突然の倒産から今年で9年になるうとしている。旧日本加工製紙高萩工場の跡地に、新たな企業が進出されるならば、高萩市の財政や市民生活に大きな展望と希望をもたらすものと思う。旧日本加工製紙高萩工場を2004年1月にインドネシア財閥系の日本人オール・ペーパー・アンド・プリンティング・プロダクツ、略してAP&PPという企業が購入し、それから約5年になるうとしているが、AP&PP社のこれまでの動きと今後の考え方について伺いたい。

総務部長 土地を売却するため、複数の土地取得希望者と交渉を続けている。

市道1409号線（高浜運動広場東側の道路）の交通安全対策について

質問 この問題は、4年前の3月議会の一般質問で取り上げ、「雨が降ると水たまりができ、自動車の往来によって水しぶきが通学する子供たちにかぶる被害が起き、道路の改善を何年も前から要望しているが一向に改善されないという苦情が寄せられている。これまでどのような対応

をされてきたのか」と質し、市当局は「舗装だけで解決できるのか、また途中まで高浜排水路が完了しているので、そこに水を流入させる方法などを含めて今検討している」と答弁している。その後、具体的にどのような取り組みられてきたのか伺いたい。



建設経済部長 路面の高さや勾配等の修正のため、舗装改修が必要と考えている。今後については直営による補修や修繕等で改善したい。

その他の質問事項

○市税・国保税の減免基準について
○市報発行について

寺岡七郎 議員

用途指定と企業誘致について

質問 用途指定は用途地域内にそれぞれの目的に沿って都市機能を誘導してまちづくりをしていく計画であります。その中に工業専用地域がありますが、いまだに赤浜地区工業団地は工業専用地域に指定されていない。財政問題、地元雇用を考えると政治的責任は重大であります。工業団地が造成されてから10年が経過しており、それでも工業専用地域が指定されていないのは遅れているのではなく、遅らせているのではないかとその理由は何か。

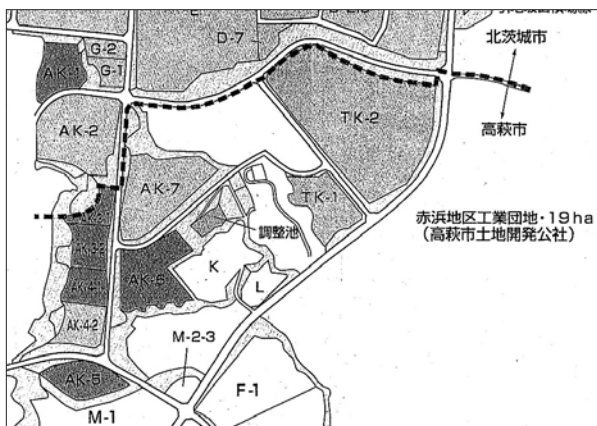
建設経済部長 平成8年度に完成し、翌9年度から分譲開始いたしました。その後、平成12年度に都市計画法の改正がされ、このため都市計画マスタープランの策定が規定されましたが、その後、ご存知のとおり平成19年度から行財政健全化の取り組みにより事業を先送りしたところであります。

質問 工業用水については、当年度未処理欠損金13億8636万7444円と膨大な欠損金が出ております。あるいは他会計からの繰入金7億5000万円と、このような状態では一日も早く水を処分しなければならぬ。水を実際に使ってくれる企業を誘致することは最も理想とするところであります。しかし、理想を追

求することによって企業誘致が実現できなければ何にもならない。したがって実際使わなくても契約水量で金を払ってくれる企業であればよいのではないかと。

市長 今後とも用水型の企業の誘致を原則に進めてまいりたいと考えております。

質問 工業用水は48億円も出さなければならぬ施設であります。今なお未償還高は24億円、借入金も7億円を超えている。理想は実際に水を利用してくれる企業であります。しかし、理想が実現しなければ高萩市民の財政負担が大変である。そこで松久保工業団地の場合のように実際使わなくても契約水量で支払っていただくことも選択肢に入れるべきである。



今川敏宏 議員

施政方針について

質問 市長から、高萩市の新しい第4次総合計画に沿って施政方針の説明があった。その中から市政経営の基本的考え方について伺う。

1点目、市長のイメージしている経営とはどういうものか？市政運営と市政経営との違いを対比しながら説明されたい。

2点目、「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」という、通称「もしドラ」と言われ、昨年かなり売れた本がある。私の経営についてのレベルはこの程度で気が引けるが、逆にそういうレベルの理解を得ることに大きな意味を持つと確信して伺う。市政経営とは市政をマネジメントするということか？だとすれば、市長が考えている経営される組織はどのように定義され、その事業である、目的と使命はどういうものなのか？また、事業の対象となる顧客に値する人とは誰になるか？

3点目、マネジメントにはマーケティングの重要性や、マネジメントの実行には優れたマネージャー、リーダーシップが欠かせないことや、さらなる進展にはマネジメントの組織化でチームマネジメントが必要になってくるとある。市長がマネジメント実行のリーダーであると思うが、

市長はマネジメントの専門家なのか？今後のチーム・マネジメントの考え方はあるか？

4点目、地方自治法との整合性の確認だが、マネジメントとは地自法の理念を成就するための、手法手段であるということか？また、市政事業の中でマネジメントできる事業は法定受託事務以外のものか？



「もしドラ」の本の中で、マネジメントをするマネージャーの資質について、ドラッカーのマネジメントの本文から次のように引用している。

「マネージャーにできないければならないことは、そのほとんどが教わらなくても学ぶことができる。しかし、学ぶことのできない資質、後天的に獲得することのできない資質、始めから身につけていなければならない資質が、一つだけある。真摯さである。」と。市長の行う行政のマネジメントが、市民の安心安全な生活を実現し、さらに市民に夢と希望と元気を湧き上がらせることができるように望んで止まない。その感動こそがこの上ない価値だと信じる。

八木陽子 議員

精神障害者の特別手当について

質問 障害者に対し、高萩市は他市町村に比べて細かい所まで支援していただいていると把握しております。しかし、退院しても障害者に合った社会復帰のための受け入れ施設が少なく、通院費、医療費、交通費などの負担が高齢化した年金収入の親御さんに重くのしかかっています。

日立市は特別手当を1か月2000円から3000円支給していますし、1か月上限1万円の交通費も支給しています。高萩市もタクシー代として1年間36回、金額にしますと2万1420円の交通費が支給されております。タクシー代としてだけではなく遠方に通院、通所する方は交通費の障害者割引がありませんので、交通費として支給することは出来ないのでしょうか。

健康福祉部長 日立市の特別福祉手当に該当するものとして当市としては在宅心身障害児福祉手当を支給しております。日立市では平成23年4月から障害者・児を支給対象に含める運びで条例を制定中の方です。本市におきましては、平成20年4月から対応が整っております。重度障害者の交通費につきましては、本市の財政状況を考慮しますと現状を超える助成制度の導入は大変困難であります。

質問 精神医学の分野では、過去の罹患率は50%と言われておりましたが、最近では90%が精神病になる可能性があると言われております。発症の年齢は20代から30代が多く、その要因は低年齢の時にあると言われております。

発達障害と言われていた児童数、生徒数を教えてください。

教育総務課長 過去3年の高萩市障害児就学指導委員会において、20年度18件、21年度22件、23年度24件です。児童の障害程度により、生活指導員兼介助員を配置し、児童の安全安心の確保、教諭の負担軽減に努めております。

質問 交通費の件ですが、日立市と同様には言いませぬ。今支払われているタクシー代を利用用途に応じ、電車やバス代としての支給を考えていただきたいと申しております。

健康福祉部長 八木議員の要望については精査させていただきます。

質問 高萩協同病院の朝早くからの順番取りの改善をお願いします。



中井信行 議員

児童虐待について

質問 県内の児童虐待相談件数は、今年度千件を超えると伝えられ、大変深刻な事態になっています。当市関係での件数は。内容と状況、予防や対策についてお聞きします。また、虐待をした親が児童に対して、しつこくしたとよく報道されますが、他人から見ても明らかに傷害でなければその判断が難しいと思います。どのように考えられていますか。

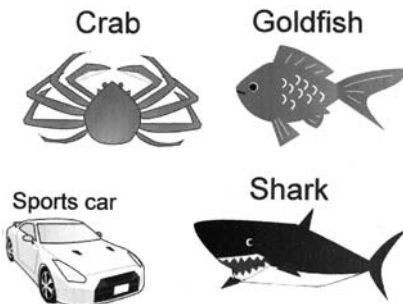
健康福祉部長 この2月まで通報件数として21件、昨年より5件増加しています。虐待者は実父が一番多く、乳幼児が7件、小学生が11件、中学生が2件、高校生が1件で、身体的、性的、ネグレクトがあります。中で心理的7件、身体的虐待14件となっています。通報があったときは、調査と同時に危険度アセスを行い、危険度が高いときは警察への連絡や児童相談所へも対応します。予防や対策について要保護児童対策協議会で協議を進めています。

市長 日本ではまだ議論が進んでいませんが、外国では親が子供に手を上げた時点で虐待と規定している国もあります。今後は事後対応ではなく、早期発見をして介入のメカニズムを構築しなければいけません。

学校の教育について

質問 新しく示された、いばらき教育プランについて、5年のプランの骨子が出来たとしています。国際教育や理数系教育を重視することのことですが、具体的にどのようなものですか。4月から小学校5、6年生では、英語の学習が必修化され、担任の先生が主体的に進めることになりました。先生方の反応はどうですか。また、中学校の英語教育との関係はどうなりますか。私は日本語の語彙が豊かでなくて、英語で正しく意思が表現できると思います。さらなる国語教育の充実をお願いします。

教育長 高萩小には理科の、秋山小、松岡小には数学のそれぞれ免許を持った教員を市独自で配置し、教科担任制を実施いたします。英語教育については、興味を持ってもらうことを重点にします。先生はALTとの授業の進め方や、指導経験がないことによる戸惑いがあります。



吉川道隆 議員

サッカーグラウンドの整備について

質問 高萩市が教育特区で設立したワイザス高校のサッカー部の活躍が素晴らしい、県大会で優勝という成績を収めた。市内には専用のグラウンドがないにもかかわらず頑張っている選手たちに、市としても応援して、人工芝のグラウンドを整備してはどうか？高浜グラウンド、またはサンスポーツランドを人工芝にするか、新しく住宅団地の一部を整備してはどうかと思うが、市長の考えは？

市長 是非サポートしていきたい。具体的な場所としては、先ほどの三か所のほかにさくら宇宙公園も考えている。



質問 グラウンド整備にあたって、totoの助成金を整備費用の五分の四、受けることが出来、宝くじの助成で五分の一賄うことが出来るの

では？人工芝のグラウンドを造ることとで、地域や子供たちのスポーツ振興に寄与できる。積極的に進めていただきたい。サッカーの選手として世界に通用する萩っ子の創出に期待出来ると思うがどうか？

市長 サッカーを含めた総合型のスポーツ施設として整備し、スピード感をもって対応したい。totoの担当者にはすでに会って、協議が出来る状態にしている。

農業法人の誘致・設立について

質問 近年の高萩の人口減少には、雇用問題が原因の一つ。企業誘致もなかなか厳しい状況。発想の転換で農業法人の誘致または設立を考えてはどうか？牛久市ではうしくグリーンファームという農業法人を設立した。耕作放棄地の解消と後継者育成が目的。市長は今まで農業に深く言及していないが、他の市町村では若い就農希望者に研修費助成、農園を貸す制度がある。新しい視線で考えてほしい。農業が法人化されれば、月給や時給で仕事ができ、有給休暇がとれる。各種社会保障制度もある。従来の厳しい農家の仕事から軽減される若い人も就農しやすいのでは？

市長 農業を経済学的にとらえて、農業の生産性を上げ、安くておいしい安心・安全な生産をどれだけできるか、国や県の補助事業を使いながら、活性化に取り組みたい。

菊地正芳 議員

空き家対策について

質問 空き家問題の内容は非常に多岐に分かれている。長年放置されたため草が生い茂り崩壊寸前であるとか？放火による火災の問題や台風などによる自然倒壊の危機、強風によるけがなどの災害問題、更には防犯上の問題、野良猫、害虫など環境上の問題などさまざまである。埼玉県所沢市では『空き家等の適正管理に関する条例』を施行している。この条例の特徴は、所有者に手紙や電話などで助言や指導勧告を行い、それに応じなければ必要な措置を講ずるよう、空き家の所有者の氏名や連絡先などを公表すると言うもので、最終的には警察などの関係機関と協議し撤去を依頼する事ができる様に定めている。当市でも条例の制定について取り組むべきと考えるが見解を伺う。

ごみ出し支援について

質問 協力者がないと「ごみ出し」ができない高齢者や障害者の方々是非常に苦勞をしている。これらの課題解決の手法として「ごみ出し支援」を行う自治体が全国的に広がっており、これらは高齢者の安否確認も兼ねていて大変に喜ばれている。高萩市においても「ごみ出し支援」収集を実施すべきと思うが見解を伺う。

家庭から出る不用品回収について

質問 悪質商法の事例を紹介します。
①、投げ込み広告を見て引き取りを依頼したところ、チラシに記載した3倍の料金を請求されたケース「人件費がかかる」とか「回収は無料だが、リサイクル料金が必要」とか「運搬量がかかる」などの理屈を並べる。
②、「見積もり無料」のチラシを見て、来てもらったところ、15点で10万円かかると言われ承諾し、業者の車に積み込んでもらった後「思ったよりも多かったので、25万円になる」と言われたケース。



③、パソコンディスプレイと自転車を引き取ってもらい1500円払ったところ、それが道端に捨て去られていた。いずれも、ひどい話ばかりである。本市の住民がいま紹介したような悪質な手口に、いつ引っかけられないとも限らない。悪質な手口を広く住民に周知し、同時に正規の回収の手続きについて改めてきちんとお知らせする、あるいは利用しやすくする必要があると思うが取り組みについて見解を伺う。また本市として規制強化のルールづくりに積極的に取り組むべきと思うが見解を伺う。

大足光司 議員

中心市街地活性化への取り組みについて

質問 市民は快適で活気ある中心市街地を求めている、また安全で安心した道路の整備にも要望が出されている。これまでの検討結果をはじめ、なぜ進めることが出来ないか。
① 中心市街地の商業振興を含めた活性化策について、どのような将来像を描いているのか。
② ヨーカドー跡地の地権者との協議は、その後どのようになっているか。
③ 都市計画マスタープランで示した、中心市街地における道路の整備状況と交通安全対策について。
④ 西地区と東地区を結ぶ浜野町踏切の冠水対策としての、側溝整備の取組みについて

市長 市内外から人を呼び込み、人が行き交う事を理想の姿と考えている。ハード事業として中央跨線橋の改修、駐輪場の整備、春日町第一駐車場の改修工事等を進めている。ソフト面では、市民と協働して「うまるしえ」「げんき・高萩」イベント、手作りひな人形まつり、商工会主体のまちなかパーティー等、各種イベントを後方支援し、人の行き交う中心市街地の活性化に今後取り組みを行きたいと思う。大型店跡地の件



では、1月中旬に地権者と会い、情報交換を行なった。現在進出の話はない。今後も定期的に協議を重ねていきたいと考える。
建設経済部長 都市計画道路安良川下手綱線、高萩停車場線については、現在行財政健全化により見送りをしている。高萩停車場線の一方通行は早期に解決したいと考え地権者との協議を行なって行く。安全対策については、路面表示等対策を講じたい。浜野町踏切の冠水対策については、沈殿槽からJR敷地内の側溝への吐き出し口、流れが悪くなっている箇所を改修し、排水の向上を図ったところである。

議案質疑

第1回臨時会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

議案第3号 平成22年度高萩市一般会計補正予算(第8号)

中井信行 議員

質問 住民生活に光をそそぐ交付金について、知の地域づくり分野で図書を購入を図りますが、内容は。また他の分野での事業は考えられなかったのですか。

教育部長 国の緊急総合経済対策で小中学校図書室や市立図書館の図書購入に充てられます。当初予算に増して図書購入ができます。

総務部長 市民生活にとって大事な分野、一、地方消費者行政 二、DV対策・自殺予防等の弱者対策・自立支援、三、知の地域づくりが示されています。一、二について既に予算化されています。図書購入のほか歴史民俗資料館の整備、視聴覚ライブラリの整備など教育分野に重点を置いたものです。

第1回定例会に提案された議案に対して次の質疑がされました。

議案第6号 平成22年度高萩市一般会計補正予算(第9号)

大足光司 議員

質問 市長車購入費518万円について伺いたい。

総務部長 現在の市長車は平成8年購入、走行距離29万キロ、オイル漏れ等故障が多数あり、メンテナンスに経費が掛かる為、新車を購入したい。車種は移動中でも車内で執務が出来るよう、ワンボックスタイプを考えている。メーカーは決まっていない。燃費や環境等を配慮したハイブリット車を想定している。

菊地正芳 議員

質問 市営駐車場(駅東口)撤去工事請負費と市営駐車場(春日第一)改修工事請負費について工事をする理由と期間、17台から14台に減らす理由、敷地の利用計画、利用率の減少の原因について伺う。

総務部長 東口については機械の老朽化で修理が困難になってきている事と類似の施設が出来ており利用率が非常に低下しているため撤去工事を行う。春日町についても老朽化で修繕が難しくなっている。今回、新たな駐車場方式を取り入れ、使用料等の見直しも行い、駅前の商店街の

活性化にも寄与したいと考えている。期間は5月には供用開始したい。台数を減らす理由は、障害を持った方にも利用しやすく1台あたりのスペースを広く取るためです。撤去後は公園として利用を考えている。

議案第12号 高萩市部室設置条例の一部改正について

大足光司 議員

質問 自治体における経営的な視点とはどう言うところなのか伺いたい。

市長 経営戦略部の設置について市で行なうべきことの効果の最大化を図りたい。具体的に人、物、金、情報、あらゆる資源を活用し成果を上げることとし経営戦略部とした。

議案第19号 第4次高萩市総合計画基本構想の制定について

大足光司 議員

質問 高萩の将来像として、自然・歴史・文化 市民力あふれる高萩が掲げられている。私は郷土の誇りと愛着という意味を持って、地域力ではないかと思うが確認したい。

総務部長 将来の都市像については市民で組織する市民会議での意見を踏まえ総合計画審議会で検討し、自然・歴史・文化 市民力あふれる高萩と定めた。市民力の定義は地域の

自らの課題として捉え自立的、かつ市民団体と協力し地域の課題や発展に向けて取り組む力である。

議案第27号 平成23年度高萩市一般会計予算

沼野新弥 議員

質問 この予算は、草間市長らしさの政策とされますが、元氣たかはぎ大使経費26万1000円、はぎッズサポーター活動経費45万円の考え方とその内容は。

市長 元氣たかはぎ大使はテレビ北海道のアナウンサーの大藤晋司さんに任命してありますが、成果はこれからだろうと思います。

はぎッズサポーターは高齢福祉の政策にもつながると考えられる。特に小学生との人間関係はつくりやすい。

生涯学習課長 予算の内容は、平成20年度に松小で始め、22年度は秋小にも広げており、サポーター登録は松小で15名、秋小で18名、年齢層は40代から60代で主に60代の方が多い。活動内容は、卓球、バドミントン、手芸などのクラブ活動、読み聞かせや国語、理科などの教科、学校行事への支援などで、報償費40万円は1人1回1000円。年10回で1人1万円、登録者40名で40万円、消耗品等5万円です。効果としてはクレーム等は特になく学校としては非常に

助かっていると聞いている。今後は他校にも広げたい。

質問 消防費の緊急通信用室整備事業9960万7000円、財政が厳しい中、目的、財源内訳は。

消防長 現在のシステムは平成10年度に整備したが、すでにハードディスクの生産が終了し、メンテナンスが難しくなった。また電波法の改正により平成28年度までにデジタル化に対応するため。財源内訳は、地方債7470万円、市の持ち出しである一般財源は2490万7000円である。

平 正三 議員

質問 住宅リフォーム助成制度の内容について伺いたい。

建設経済部長 市民が居住する個人住宅の改修工事を市内の施工業者に依頼して行った場合、工事費の一部を補助する制度である。工事金額10万円以上100万円未満は工事金額の10%、工事金額が100万円以上は10万円を補助する。

質問 高萩まつり山車改修事業1800万円は、市内18か所に山車があり、交通法の関係上、今のままでは出ることができないので改修を行うものであるが、その内容について伺いたい。

建設経済部長 山車の改修は高萩警察署から3年の猶予を与えられている。補助限度額は原則100万円であるが、場合によって50万円まで上

乗せする考えである。

大足光司 議員

質問 畜産振興経費事業内容と、削減された1827万2000円について伺う。

建設経済部長 市内の肉用牛、酪農、養鶏経営農家、畜産団体を支援する事業費である。肉用牛安定生産促進事業40万円。家畜伝染病予防注射の経費30万円。減額した1827万2000円は多賀地区農用地整備公団事業の償還金が22年度で終了したことである。

中井信行 議員

質問 住宅手当特別措置経費は、就労意欲のある人が仕事を探す上で大変重要ですが、半減していますが。

健康福祉部長 現在3名で利用者が少なく、今年度は5名見込みでした。
質問 要保護児童支援研修啓発委託料で地域協議会のスキルアップを図るとしていますが内容は。

健康福祉部長 協議会及び関係機関援助者などを対象に連携強化するもので、児童家庭支援センターに委託を考えています。

質問 子ども手当経費について内容は。また、この経費は初め全額国の負担としていましたが変更されました。どう考えていますか。

市民生活部長 支給対象子ども3707名、その親など2206名に対し総額約6億3000万円です。国

が約5億600万円、県と市がそれぞれ約6200万円負担します。

市長 地方負担については、私は反対です。しかし、市民に迷惑をかけられませぬので、市負担分を計上しました。

質問 子宮頸がん等ワクチン接種経費ですが、ワクチンが不足しています。副作用も懸念されますが。

健康福祉部長 6月頃まで新規の接種を見合わせます。副作用については事前に説明を行います。

質問 畜産振興経費の償還金が予算計上されていませんが内容は。

建設経済部長 未償還対象者は、破産者1名、残り9名で未償還金は約1億7000万円です。この件で弁護士と相談します。

菊地正芳 議員

質問 市有地草刈委託料234万9000円について委託先、雇用人数、期間を伺う。

市営駐車場除草清掃作業委託料これは過去予算を見ても一度も計上されなかったものだが、今回予算計上した理由を伺う。

総務部長 緊急雇用創出分と言う事で、例えばシルバー人材センターや人材派遣会社に委託して今回6か所の草刈を7月から9月で3回、延べ60人で180人の雇用を予定している。

市営駐車場除草清掃作業については今まで市の職員が行っていたが、

どうしても手が回らない状態なので委託した。



第1回定例会に提案された議案に対して次の討論がされました。

議案第34号 高萩市議会議員の定数を定める条例の一部改正について

賛成 討論

吉川道隆 議員

昨年、公社が破産をし、高萩市に全部その損失補償がのしかかってきた。職員の給与カット、市長、副市長も報酬削減をしているが、議会ではまだ費用弁償と政務調査費を半分にしたが、その他はそのまま。踏み込んだ改革が必要。

今までも時代の流れに沿って定数削減してきたが、現在の財政状況から考えると、議会費の削減に向け、更なる定数削減は避けられない。

今回、市民有権者の約6分の1に当たる、4357人の署名を添えて要望書が提出された。市民の多くが議員削減を望んでいるということであり、議会も真摯に受け止めなければならぬ。

住宅公社と土地開発公社、その他畜産団地等の事業は、確かに国・県の政策によるものだったが、最終的には強制ではなく、各自自治体の判断によるもの。そのことが今の高萩市の財政を圧迫していることから考えると、市の方向性に対し最終判断をしてきた議会には責任がある。よって、支出をできるだけ少なくする一つの方法として、議員定数の削減は考えるべき。

私たち議会も、それぞれいろいろな考えがある。しかし、結果的に議員提案という形で定数削減を考え、市民の方々も要望書という形で定数削減を考えている。ここで立場は違えども、両者の意見が合致しているのだから、目指すところは高萩市の財政のため、将来のため、この議員定数削減を機に、市民と議会が共に協力し合えるようになればと思う。

賛成 討論

大森要二 議員

私は、議案第34号、議員提案による条例改正案に対し、賛成の立場で討論いたします。

提案者とは若干賛成する内容が変わるかと思いますが。

提案者は、財政問題からではないとのことですが、私の理由は、現在高萩市は行財政健全化の真ただ中にあることは皆様ご存知のとおりであると思います。

住宅公社を解散し、第三セクター債を活用し、長期間で返済していく道筋が立ったことは市にとって大きな前進であると思います。

しかしながら、人口減、税収減の現況下に年間約3億円を返済し続けるのは容易なことではありません。

市長はじめ市職員の給与カット、補助金のカット、手数料の値上げ等実施されていますが議会費はどうなのでしょう。これを思うことから賛成するところがありますが、3月2日の読売新聞の記事、2名の有志が4500名近くの市民の同意を署名にして、議会の思惑を抜きにして定数削減を実施してほしいと述べ、高萩を思う心と勇気は、二人の有志と多くの市民に感謝したいと思っています。

議員削減が多く議員のもとに削減できることは大変私も感激しております。

議員各位には何とぞよろしくお願い申し上げます、私の賛成討論といたします。

賛成 討論

今川敏宏 議員

私は議員定数削減について賛成の立場から討論いたします。

高萩市にとって適正な議員定数とは何名なのか、極論を言えば、多岐多様な市民の声を行政に反映するには、議員は多い方がいいはずです。

しかし議会運営上はあまり増やさない方がいいのも理解できます。

従って適正な議員定数とは、まずは法によって示された定数を鑑みながら、人口や住民分布、産業構造や地域性、予算規模や財政状況など、自治体の規模と特性によって検討されるべきであり、有識者を含めて広く徹底的に議論する必要があります。たことは明白であります。

また一方で、この問題は現職議員の問題ではなく、むしろ今後、市民の誰もが持っている選挙権、被選挙権という非常に大きな権利を制限するという人権の問題なのであります。ですからこの問題に関しては、財政問題だけで決めるべきではなく、より多くの民意を汲み取る議員として検討を重ね、より多数の議員の合意を経て、できれば全会一致による意志決定が望ましいと考えていたものであります。

私は単なる議会経費削減が目的ではなく、高萩市にとっての議員定数の適正化という観点から、定数2名削減に賛成することを申し上げ討論いたします。

賛成 討論

八木陽子 議員

議案第34号に対し、賛成の立場で討論いたします。高萩市議会は、定数26人から18人と、この自治体よりも先駆けて8人の削減を実施し、

議会運営を行ってきました。しかし、メディアが議員削減はあたかも当然であるかのようにあおりたて、社会的な動きとなっており、市民の要望へと変わってきたのです。ある意味、市民が行政や議会に関心を持つ大きな要因になったことも事実です。

議員の役割は議決権を持っているということ。執行機関の監視役としての責任を認識し、その職務を十分に果たす議会運営を行わなければなりません。今後地方分権がますます進み、自治体の責任は増すばかりです。私たち議員の責任も重くなります。私も中井議員同様、国の無策が地方を揺るがしていると思っています。財政が厳しいというだけで短絡的に議員削減を行うことは、議会制民主主義の崩壊につながります。しかし、現在の高萩市の情勢を考えてみますと、平成15年に議員削減したときの人口は3万3934人、現在は3万895人です。高萩市の総合基本構想に示された目標は3万人ですが、調整統計推移では2万8000人と大幅に減少が見込まれます。平成15年から見ると約6000人近く人口が減ることになります。この状況から見ても、2名削減もやむなしではないでしょうか。これから私たちは誇りと責任をもって役割、責務を果たしていかなければなりません。

第1回臨時会 議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
報告第1号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	受理
議案第1号	高萩市斎場の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	高萩市営野球場設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	平成22年度高萩市一般会計補正予算（第8号）	原案可決

第1回定例会議案等審議結果

番 号	件 名	結 果
選挙第1号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙について	当選(今川敏宏)
報告第2号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	受理
報告第3号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	受理
報告第4号	専決処分の報告について（高萩中学校体育館改築工事請負契約の変更について）	受理
議案第4号	高萩市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	原案同意
議案第5号	高萩市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	原案同意
議案第34号	高萩市議会議員の定数を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	平成22年度高萩市一般会計補正予算（第9号）	＊
議案第7号	平成22年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	＊
議案第8号	平成22年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	＊
議案第9号	平成22年度高萩市水道事業会計補正予算（第4号）	＊
議案第10号	高萩市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について	＊
議案第11号	高萩市里山交流館の設置及び管理に関する条例の制定について	＊
議案第12号	高萩市部室設置条例の一部改正について	＊
議案第13号	高萩市駐車場設置及び管理等に関する条例の一部改正について	＊
議案第14号	高萩市高額療養費貸付基金条例の一部改正について	＊
議案第15号	高萩市特別会計設置条例の一部改正について	＊
議案第16号	高萩市廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正について	＊
議案第17号	公の施設の利用に関する協議について	＊
議案第18号	高萩市斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	＊
議案第19号	第4次高萩市総合計画基本構想の制定について	＊
議案第20号	県北地方広域市町村圏協議会の廃止に関する協議について	＊
議案第21号	高萩市道路線の認定について	＊
議案第22号	高萩市道路線の廃止について	＊
議案第23号	高萩市道路線の変更について	＊
議案第24号	中戸川辺地総合整備計画の変更について	＊
議案第25号	下君田辺地総合整備計画の策定について	＊
議案第26号	横川辺地総合整備計画の策定について	＊
議案第27号	平成23年度高萩市一般会計予算	＊
議案第28号	平成23年度高萩市国民健康保険事業特別会計予算	＊
議案第29号	平成23年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計予算	＊
議案第30号	平成23年度高萩市介護保険事業特別会計予算	＊
議案第31号	平成23年度高萩市霊園事業特別会計予算	＊
議案第32号	平成23年度高萩市水道事業会計予算	＊
議案第33号	平成23年度高萩市工業用水道事業会計予算	＊

＊ 3月11日に発生した東日本大震災により、3月定例会のすべての日程を終了することができず、採決に至りませんでした。
 なお、これらの案件については、市民生活に直結するものが含まれるため、市長により専決処分がされています。
 【専決処分：地方公共団体の議会が議決または決定すべき事項を、特定の場合に限り、地方公共団体の長（市長）が議会に代わって処理すること。】

被災お見舞い

このたびの東北地方太平洋沖地震により被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

3月11日に発生した大地震は、かつて経験したことのない大規模な災害を生じ、本市においても多くの家屋の損壊や浸水、道路や水道施設、公共施設の損傷など甚大な被害をもたらしました。

また、地震や津波による被害を受けた中で、原発事故による放射線の不安や農作物の風評被害なども加わり、市民の皆様も不安な状態の生活を余儀なくされていることと存じます。

災害の完全復興にはまだ長い期間を要すると思いますが、市議会といたしまして議会及び議員それぞれの立場から執行部と協力し合いながら、一日も早い市民生活の安定に努めてまいり所存であります。

このたびの災害に際し、ご協力いただいたボランティアの皆様、人的・物的支援をいただいた関係機関の皆様に感謝を申し上げますとともに、市民の皆様ので安全で平穏な生活とご健勝を議員一同、心からご祈念申し上げます。

高萩市議会議長 鈴木英樹

次回の定例会は6月です

平成23年第2回高萩市議会定例会は、次のとおり開催される予定です。

6月3日（金）本会議	議案上程	6月10日（金）建設経済委員会
6月6日（月）本会議	一般質問	6月13日（月）文教厚生委員会
6月7日（火）本会議	一般質問	6月14日（火）総務委員会
6月9日（木）本会議	議案質疑	6月16日（木）本会議 採決

日程等が変更になることがあります。また、市庁舎が被害を受けたことにより本会議及び委員会の場所が変更になります。決まり次第ホームページ等でお知らせします。詳しいことは、議会事務局までお問い合わせください。（23-5373）

議員定数の削減について

3月4日に開かれた本会議において、議員定数を2人減とする内容の「高萩市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」が議員から提案され、可決されました。これにより、今秋予定されている一般選挙より議員定数が18人から16人となります。

編集後記

地震だ!!

激しい揺れと津波の恐怖、あれから2か月が過ぎる。各地からの支援物資やボランティアの炊き出しなど沢山の応援を頂いた。本当に嬉しく心から感謝の気持ちである。未だに強い余震は続くがライフラインも復旧され、生活にも少し落ち着きが見えてきたところであり、子ども達にも笑顔が戻ってきた。和みの一時に「ほっと」する。

一人ひとりの笑顔を取り戻すためにも、あの震災の無惨な光景を忘れることなく、元氣なまちを取り戻すために、一丸となって取り組んでいくことを改めて誓う。

「絆」を深めながら。

（大足光司 記）

議会だより

編集特別委員会

委員長 鈴木 修二
副委員長 菊地 芳二
委員 大田 吉舟
委員 大森 所川
委員 大足 光司